

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

平成30年度事業について

2018.10.23 TUE ADフォーラム



平成30年度 バリアフリー推進事業

普及啓発

1. 交通事業者と一般向けバリアフリー啓発・教育の実施
2. 公共交通事業等に従事する者に対する手話教室の開催
3. バリアフリー推進勉強会等の開催及び関係学会との連携

オリンピック、パラリンピック開催に向けた課題の解消

4. オリンピック、パラリンピック開催に向けた移動と交通に関する調査等

バリアフリー諸課題の研究

5. 公共交通機関におけるさまざまな障害等の対応に関する調査等
6. 福祉送迎車両の利便性・安全性向上に関する調査研究討
7. 移動等円滑化ガイドライン（旅客施設・車両等）の見直し検討

助成

8. 海上交通バリアフリー施設整備推進
9. ECOMO交通バリアフリー研究・活動助成

情報提供

10. 「らくらくおでかけネット」等の運営
11. 交通バリアフリー情報提供システムの構築

協同事業

12. 今後のモビリティ・アクセシビリティのあり方の検討

普及啓発

1. 交通事業者と一般向けバリアフリー啓発・教育の実施

目的

交通事業者のバリアフリー接遇・介助水準の向上、並びに小中学生等を始めとする市民向けのバリアフリーへの理解の促進を図る。

これまでの取組

- 29年度受講者数 175名（鉄道79、バス96）※累計受講者数 1,148名
- ウェブサイト、サポマネ通信の発行等PR
- 小中学校等での学習プログラムの展開 29年度 26箇所



接遇・介助方法の習得・
実技演習（車いす）



気づきのトレーニング
(グループワーク)



サポマネ通信



小学校での授業

30年度の取組

- 首都圏と関西圏で計6回のサポマネ研修実施
- 交通事業者の自主研修開催支援
- 障害当事者講師養成／講師バンクの運用
- 動画教材の見直し検討
- 小中学生、一般等へ学習プログラム等の展開

@Eco-Mo Foundation

普及啓発

3. バリアフリー推進勉強会等の開催及び関係学会との連携

目的

定期的に開催し、交通バリアフリーを推進する上での課題等についてハード・ソフト両面の個別テーマ毎に最新の動向を踏まえ、参加者等との意見交換、情報交換を目的とする。また、国内外の各学術団体、市民団体等との連携及び学会等への参加を通して情報交換等を行う。

30年度の取組

- バリアフリー推進勉強会の開催（8回程度／年）
 - ・空港のユニバーサルデザイン
 - ・地域交通の提供と交流の拡大に対する効果と交流の拡大が健康に及ぼす影響
 - ・平昌オリンピック・パラリンピック報告
 - ・知的障害のある人との共同研究 “インクルーシブリサーチ”的可能性
- バリアフリー推進勉強会（関西）の開催（2回程度／年）
- TRANSED2018（台湾）に参加（11月12日～15日）
- 国内外各学会との連携
- 各セミナー等との共催



@Eco-Mo Foundation

オリンピック、パラリンピック開催に向けた課題の解消

4. オリンピック、パラリンピック開催に向けた移動と交通に関する調査等

目的

2020東京大会に向け、これまでの調査において得られた知見を整理し、公開するとともに、大会時に想定される障害者等の移動に関する具体的な課題について対応の方向性を明らかにする。

これまでの取組

- ロンドン調査（26年度）、リオデジャネイロ調査（28年度）、ピョンチャン調査（29年度）
- 障害者、交通機関利用者、外国人旅行者の意識調査の継続実施
- 大会時のシームレスな移動支援のあり方検討

30年度の取組

- 交通機関利用者の意識調査（オリパラ時のバリアフリーに関する期待や課題など）
- 移動制約者への適切なサポート実施のためのプログラム検討
- トイレ等の標準案内用図記号の検討
- 空港での障害者支援

@Eco-Mo Foundation

○トイレ等の標準案内用図記号の検討

http://www.ecomo.or.jp/barrierfree/pictogram/picto_add2018.html



介助用ベッド
Care bed



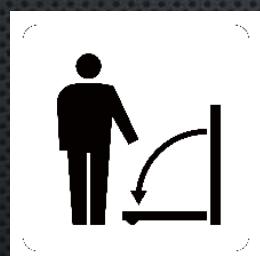
ベビーチェア
Baby chair



おむつ交換台
Diaper changing table



子どもお手洗
Children's toilet



着替え台
Changing board



簡易型
簡易型オストメイト
用設備

JIS Z8210オストメイト
図記号に「簡易型」の
補助表示をつける



男女共用お手洗
All gender toilet



カームダウン・クールダウン
Calm down, cool down

文字による補助表示を付ける場合は「男女共用 All gender」またはそのどちらかとする
色彩はモノトーンが望ましい

文字による補助表示は「カームダウン・クールダウン Calm down, cool down」とする
「この部屋は気持ちを静めるための部屋です」など、運用に適した利用説明の表示をつけることが望ましい

目的

障害者という考え方から「障害」に基づく様々な課題を検討する。

これまでの取組

- 障害者差別解消法
- 認知症（サポートカード）

30年度の取組

- 障害者差別解消法：マニュアルの見直し、周知啓発、事例収集



「すぐわかる！障害者差別解消法

-社会の障壁をトリ除こう」

法の趣旨、交通機関の乗車拒否などの事例、
対応事例やその配慮方法

http://www.ecomo.or.jp/barrierfree/sabekai/data/sabekai_a4.pdf

@Eco-Mo Foundation

バリアフリー諸課題の研究

- 認知症対応冊子、カードの利用・啓発のためのセミナーの開催
- 認知症当事者からのメッセージビデオ作成



認知症当事者からのメッセージビデオ

「おでかけサポート」

支援のお願いをお手伝いするためのもの

http://www.ecomo.or.jp/barrierfree/ninchi/data/card_2017.pdf



- 不便さ調査

公共交通機関の利用に関わる不便や障壁のデータベースとして運用中である
「不便さ調査データベース」のデータ更新とシステム拡大検討

- バリアフリー認証制度の検討

公共交通機関の利用しやすさを評価した「やさしさ評価」等に基づくバリアフリー評価を検討し、韓国等で実施しているバリアフリー認証制度の現地調査により、バリアフリー認証制度実施についての基礎調査

助成

9 .ECOMO交通バリアフリー研究・活動助成

目的

交通バリアフリーに関する先進的な調査研究や技術の研究開発を行う若手研究者等に対して、助成を行い、わが国の交通バリアフリー促進に寄与する。

30年度の取組

○応募期間（1月1日～1月31日）

○助成対象事業の選定（3月15日）

応募 22件（若手研究者部門2件、一般部門9件、研究・活動部門11件）

決定 12件（一般部門2件、研究・活動部門10件）

○審査委員会（2回開催(6月12日、H31 3月予定)

○報告会（第11回 6月12日）

一般部門

・聴覚失認のある高次脳機能障がい者に適した災害チャイム

・バリアフリー基本構想策定における行政機関の実務上の課題からみた今後の展開方策に関する研究

研究・活動部門

・寺社仏閣が多い観光地における電動車いすでの観光時のバリアフリーについての研究

・どこでも・だれでも・気軽にサポートプロジェクト

・公共交通機関における視覚障害者誘導用ブロックの敷設実態と課題－歩行訓練士の視点から－

・相生市内全小学校におけるバスのバリアフリー教育

・事業者連携による福祉車両を活用したバリアフリー観光移送に関する研究

・介助技術の習得による社会人・学生の障害者サポート意識の向上

・障がい者が主役の映画を通して、心のバリアフリーを広める。

・「Happy Bus停」プロジェクト～バリアフリーで快適なバス利用環境を面向的発想で実現する～

・認知症になっても交通機関を利用し外出を続けられる社会を目指す

・つくば市における認知症高齢者が外出しやすい環境づくりの調査



第11回報告会

@Eco-Mo Foundation

情報提供

10. 「らくらくおでかけネット」等の運営

11. 交通バリアフリー情報提供システムの構築

目的

高齢者、障害者等の移動に制約がある人々への情報提供へのニーズに応え得る機能及び情報内容を提供できるシステムを構築し、同システムの利用によって、移動に制約のある人々を含む誰もが、自律的に公共交通機関を利用し、安心して快適に移動できる情報提供基盤を確立することを目的とする。

30年度の取組

従来のシステム

■15年が経過し、システムは開発当時のまま

■機能の充実やトラブル対応、アップデートといった日常的なサポートが将来的に難しい

スマートフォン・タブレット対応（画面含む）

近年、スマートフォンやタブレットの普及が急速に進んでいるにも関わらず、現在の「らくらくおでかけネット」では、スマートフォン・タブレット様のサイトは現時点で用意されていないという課題が存在する。

既にマルチデバイス対応済の「乗換案内」の知見を活用し、新システムのマルチデバイス対応化する。PCならおでかけ前の準備時に使いやすいサービス、という点に、スマートフォンなら「おでかけ中の情報収集にも使いやすいサービス」という点に主眼を起き、それぞれのシーンでの有用性の高さを常に意識して情報提供のあり方をユーザインターフェースに反映させる。

らくらくおでかけネット

スマートフォン・タブレット対応

Copyright © 2012 Eco-Mo Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transportation. All Right Reserved.

視覚障害者を主な対応とした障害者のアクセシビリティ対応

現在の「らくらくおでかけネット」では、音声読み上げの対応が不十分なため、視覚障害者を主な対応として障害者のアクセシビリティが低い状況という課題が存在する。

以下の機能については読み上げにしっかりと対応したサイトとして整備する。
①経路検索結果 ②トップページ（機能ナビゲーション）
③駅情報ページ ④その他リンクページ

らくらくおでかけネット

Copyright © 2012 Eco-Mo Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transportation. All Right Reserved.

@Eco-Mo Foundation